

(3) 鳥類と生活に関係した伝承・諺等

呼び名の聴き取りの中で併せて採録した、鳥類と生活に関係した主な伝承・諺等は次のとおりである。

① スズメ目

ア スズメ

- ・ 「スズメが朝にチュンチュン鳴くと晴れ」(上野)
- ・ 「スズメの水浴びは雨」(菅内・樺野、上野)
- ・ 「スズメ百まで踊りを忘れん」(伊船・長沢)
- ・ 「秋のスズメのむらぶちが来る」と言った。(太森)
- ・ 「スズメのお宿は藪」(田村・長明寺)
- ・ 「駅のスズメは色が黒い」(亀山中心)
- ・ スズメが集まって鳴いていると「スズメの寄り合い」と言った。(野村・南野)
- ・ よくしゃべる人を「スズメ」と言った。(鷺山)

イ ツバメ

- ・ 「ツバメが低い所を飛ぶと雨」(上野他)
- ・ 「ツバメは福鳥で、巣をかけると、げがいい。かけないと悪いことが起こる」(会下他)
- ・ 「ツバメは巳年の人がいる家には巣をかけない」(石薬師)
- ・ 「ツバメは家に不幸があると巣をかけない」(高塚・加佐登)
- ・ 「ツバメが飛んできたら春」(中庄)
- ・ 「ハルノコは強いが、ナツノコは弱い」(西庄内他)

ウ セグロセキレイ

- ・ 「カワラチュンチュンが屋根瓦に巣をかけると、げが悪い」(上加太)
- ・ 「満月の日にオツキサンノミズクミが飛んでくると、縁起が良い」(平野)
- ・ 本種を見ると「オーフリドリまめなんか、頭金柑、腹蜜柑、足は針金、尾はぴんこぴんこ」と言った。(広瀬他、類似表現が数集落)
- ・ 「オツキサンノミズクミどうして汲むの、釣る瓶かたげてこうして汲むの」と言った。(小岐須)
- ・ 背の高い人のことを「オツキサンノミズクミ」と言った。(鷺山)

エ ウグイス

- ・ 「ウグイスの糞は女の人化粧に良い」(高塚・加佐登)
- ・ 声が美しい人のことを「ウグイスの谷渡り」(上田)

オ モズ

- ・ 「モズが鳴くと天気になる」(水沢野田)
- ・ 「モズがウグイスの鳴き真似する」(水沢野田)

カ ヒバリ

- ・ 「ヒバリが高いとこ飛ぶと天気がいい」(汲川原)
- ・ ヒバリが空高く鳴いていると「天まで上がれ」と言った。(白木)
- ・ ヒバリは賢いので、巣のある所から飛び出さず、離れた所から飛び出す。(和田・川合)

キ ヒヨドリ

- ・ 「栗があころむ時分にヒヨが小便(しょんべん)かけると、栗がはじける」(西庄内)
- ・ 「種を撒くと、ヒヨが捨てく」(石薬師)

ク ホオジロ

- ・ 籠の中のホジロは手をかけて馴らさないことにはきれいな声をあげない。(木下)

ケ オオルリ

- ・ オオルリは胸が白いので、「卵をぶら下げている」と言った。(亀山中心)

コ カラス

- ・ 「カラスが水浴びすると雨(が近い)」(関町中心)

- ・「カラスが伸ばして鳴くと良くないことが起こる。短く切って鳴くと良いことが起こる」(亀山中心)
- ・「カラスは鳴きよが悪いと人が死ぬが、身内には知らせない」(会下)
- ・「カラスが寂しそうに鳴くと、死どう(=人が死ぬ)がでる」(久我)
- ・「ヒトコエガラスが鳴くと、近くの家で不幸が起こる」(上加太)
- ・「カラスは地下7軒下まで見通しがきく」(石薬師)
- ・子沢山の家のことを「ハマのカラスほど子をもける」と言った。(中庄)
- ・「カラスが西の山に帰ってつたので家へ帰ろう」と言って帰った。(菅内・樺野)
- ・昔は、カラスの大集団が朝には浜に向かって、夕方には山に向かって飛んで行ったものだった。(多くの集落)

② キジ目

ア キジ

- ・「ケンケンドリが(夜)鳴くと災いが起こる」(広瀬)
- ・「キジが(夜に)鳴くと地震がいる」(関町中心、山本)
- ・鹿の角でキジ笛を作り、雌の鳴き声を出し、キジ猟に使った。薄暗い早朝に効く。(小川)
- ※ 世話をよく焼き、話好きな人を「ケンケンの爺さん」と呼んだ。(平田・弓削・岡田)

③ ハト目

ア キジバト

- ・「ハトが鳴くと雨が近い」(久我、会下)
- ・「ハトがツーツと鳴くと豆を撒く時期」(安坂山)
- ・「クックードリかハクドリか、白米もてこいクッククー」(白川地区から椿地区の集落)
- ・キジバトはなんば餅(キジバトの煮汁に、ついた餅を小さくして入れて食べる料理)にして食べるとうまい。(上田)

④ ペリカン目

ア アオサギ

- ※ 「ゴイドリごじゅう、シギしじゅう」(甲斐)

⑤ カッコウ目

ア カッコウ

- ・「カッコーが(夕方に)鳴くと雨が降る」(平田・弓削・岡田)
- ・「カンコドリが鳴くと小豆を撒く」(大久保)
- ・金がなくなると「家の中でカンコドリが鳴く」と言った。(田村・長明寺)

イ ホトトギス

- ・「ホトトギスが4回鳴くと、世の中良くなる」(坂下)
- ・「ホトトギスは神様の使い」(川崎)
- ・ホトトギスが鳴くと「冬ごしらえをせー」と言った。(久我)
- ・「ホンザンカケタカ」と鳴くと、「金ないでよう建てん」と答えた。(辺法寺)
- ・「ホトトギス自由自在に聞く里は、酒屋に3里、豆腐屋に2里」(住山)

ウ ツツドリ

- ・鳥がツツ ツツと鳴くと「筒の中に豆が入っとなで、早よ入れよ(=豆の種を撒け)」と言った。(豆を撒く時期を知らせる鳥)(白木)
- ・「竹に種を入れて忘れていると、「ツツ ツツ」と鳴く鳥が教えてくれる」と言った。(川崎)

⑥ タカ目

ア トビ

- ・「トンビが鳴くと天気が続く」(越川)
- ・「トンビは日和を告げる」(会下)
- ・「トンビが日和を上げると天気(又は 晴れ)」(太岡寺他)
- ・「トンビが横切ると雨」(下庄)

- ・ 「トンビが回ると晴れ、回らず飛ぶと雨」(古厩)
- ・ 「ピーヒョロ雨が降る、ピーヒョロ雨が降る」(雨降り前に鳴くとそう言った)(沓掛)
- ・ 「トンビは目が利く」(伊船・長沢)

⑦ フクロウ目

ア フクロウ

- ・ 「ゴロスケが夕方鳴くと天気になる」(安坂山)
- ・ 「ゴロスケが鳴くと曇る」(山本)
- ・ 「フクローが夜鳴くと雨が近い」(山下、住山)
- ・ 「フクローのメンタ(又は 雌)が鳴くと雨(が降る)」(小川、平野)
- ・ フクローは少し夜が更けて鳴き、親が「ゴロスケが鳴いたで、遅まで起きると連れてかれるぞ」と言って子どもを早く寝かしつけた。(家庭内の躰に使った)(小社他)

イ アオバズク

- ・ 「ホーホードリが鳴くと天気」(辺法寺)

⑧ シギ目

ア シギ

- ・ 「ゴイドリごじゅう、シギしじゅう」(甲斐)

⑨ その他の鳥類

ア 海(浜)に関する鳥

- ・ 「ハマスズメが群がってくると雨が降る」(平野)
- ・ 「海が荒れるとハマスズメが来る」(鹿間・下大久保)

イ その他

- ・ 「コーボードリは弘法さんの使い」(川崎)